

くがかつなん
陸羯南

日本

35mm ポジティブロール 全81リール ■監修 北根 豊

●全81リール揃定価：本体 1,300,000 円+税（分売不可） ISBN4-8433-0535-9 C3836

条約改正反対を唱え、政府批判を加え、度重なる発行禁止処分にも屈せず、新聞の独立を堅持した言論新聞。

【本書の特色】

●明治中期ナショナリズムの本流

主筆陸羯南は藩閥政府の文明開化政策が極端な欧化に走るのを矯正するため「政権を争ふの機関」でも「私利を射るの商品」でもなく「独立新聞」としての性格を鮮明にしてナショナリズム的色彩を強くし、明治中期ナショナリズムの本流となった。

●我国唯一の政論新聞

「国民主義」を標榜して正論を掲げ、時の政府と対峙した「日本は明治政府から敵視され、度重なる弾圧を蒙りながらも最後まで抵抗した我国唯一の政論新聞である。

●多くの有識者の共感を呼んだ所論

雄渾宏大な文章とともに豊かな国際法や財政論の専門的知識に裏うちされた所論は多くの有識者の共感を呼び、陸羯南を中心に高橋健三、陸羯南、杉浦重剛、福本日南、三宅雪嶺らの論説陣に、内藤湖南、丸山幹治、千葉亀雄、長谷川如是閑、海外からは池辺三山らが次第に加わり、充実した社説欄は当時第一流の新聞として発行部数を激増させた。

●群を抜いた「行動する新聞」

大隈外相が秘密裡に進めていた条約改正を暴露し、これを機に世論が賛成と反対とに真っ二つに分かれたことはあまりにも有名であるが、この条約改正の反対の先鋒に立つなど「日本」は、常に思想性の高さをもったエネルギーを発揮し、広い分野にわたり重い存在感をもちつづけた。

●正岡子規ら「日本派」俳句革新運動の牙城

正岡子規は本紙に「瀨祭書屋俳話」を連載後、日本新聞社に入社し俳句欄を担当。選句と評論で俳句革新の基盤をつくり、これを引き継いだ河東碧梧桐、高浜虚子ら「日本派」の牙城となる。

●充実した文芸欄

俳句の他、漢詩欄においては、国分青 香本田種竹ら、短歌欄では小出粲、中島歌子、小中村義象、落合直文らの名前が見える。また、挿絵を担当した中村不折の存在も忘れることができない。

申込書

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491 Fax.03(5296)0493

〔お取り扱い書店〕

くがかつなん
陸羯南 日本 全81リール

●全81リール揃定価：

本体 1,300,000 円+税（分売不可）

●ISBN4-8433-0535-9 C3836

セット

お名前

ご住所

Tel: ()

